

154. 勤労者世帯の貯蓄と負債……(昭和49~59年)

勤労者世帯とは、世帯主が会社、商店、官公庁などに雇用されている世帯、ただし、世帯主が社長、取締役、理事など、会社団体の役員である世帯を除く。

(単位 1 000円)

年	集計世帯数	世帯人員	有業人員	世帯主の年齢	持家率 (%)		年間収入
					持家率 (%)	年間収入	
昭和49年	1 161	3.85	1.44	39.4	59.1	2 653	
54	1 418	3.89	1.43	40.4	65.6	4 532	
59	1 393	3.89	1.51	41.7	70.7	6 008	

年	貯蓄						生命保険
	総額	郵便局		銀行など		定期預金	
		定期貯金	通常貯金	普通預金	普通預金		
昭和49年	2 099	249	64	707	248	320	
54	4 433	576	93	1 512	374	698	
59	5 989	866	78	1 643	303	1 125	

年	貯蓄			負債		
	貸付信託・債権	株式・投資信託	その他	総額	住宅・土地購入のため	その他
昭和49年	199	164	149	729	628	101
54	570	316	295	2 277	2 171	107
59	859	601	514	4 024	3 830	194

資料 総務庁統計局「全国消費実態調査報告」